

参考資料）協議事項（１） 第 2 次黒部市地域公共交通網形成計画について

1. 黒部市内公共交通の利用状況

（１）黒部市内公共交通の概要

- ・黒部市では、広域交通軸として南北に縦断する北陸新幹線、地域交通軸として海岸部付近を南北方向・黒部市では、広域交通軸として南北に縦断する北陸新幹線、地域交通軸として海岸部付近を南北方向に走るあいの風とやま鉄道、市域を東西方向に走る富山地方鉄道本線が骨格となり、地域の状況に応じたバス路線、コミュニティタクシー、デマンド交通によるネットワークが形成されている。
- ・市東部の宇奈月温泉地区では、観光列車として有名な黒部峡谷鉄道が運行する。
- ・平成 27 年度以降、黒部市地域公共交通網形成計画に基づいて路線バス、デマンドタクシーの新設及び見直しや社会実験が行われている。平成 30 年度は、南北循環線の一部減便を 10 月から行った。

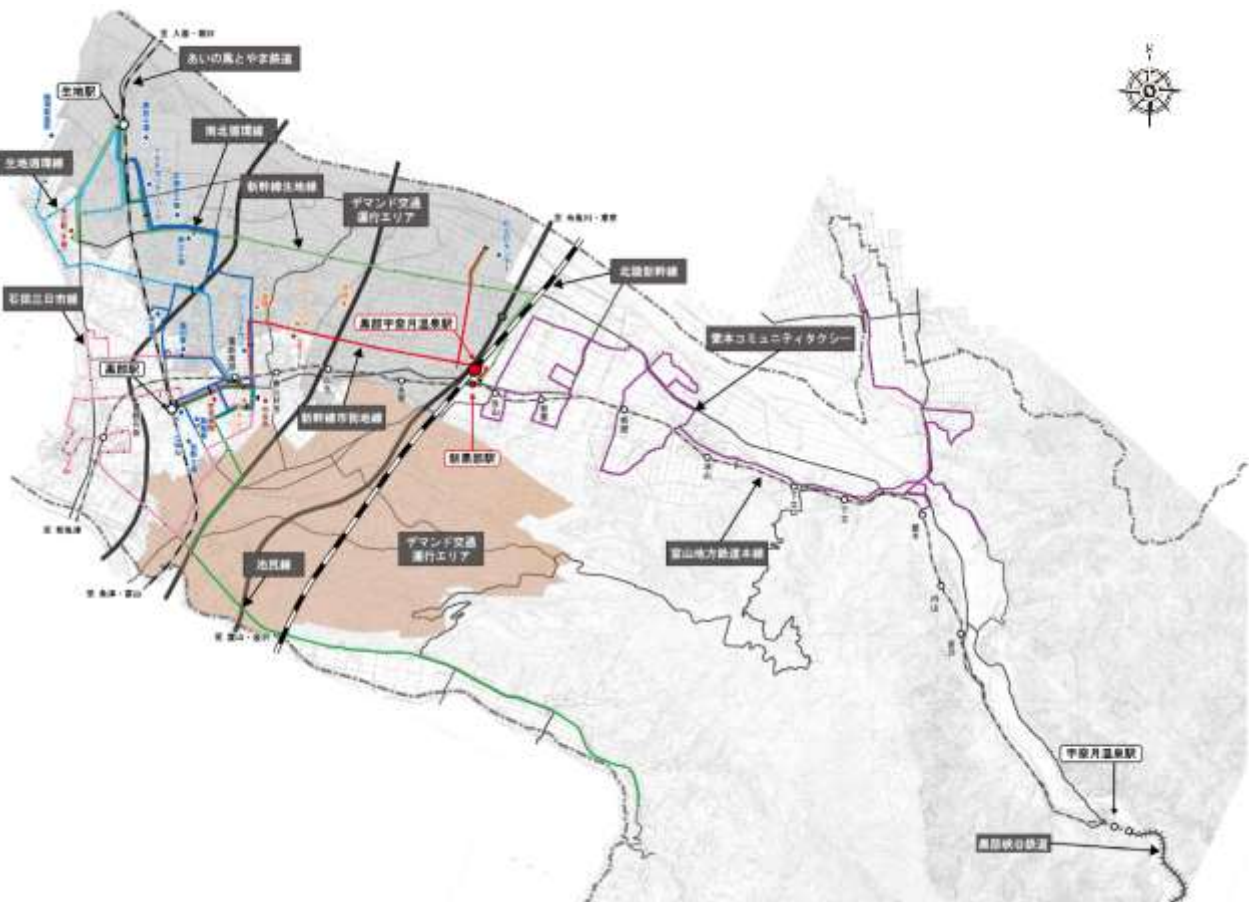


図 黒部市の公共交通網(平成 31 年 3 月末時点)

（２）【鉄道】北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅における乗降調査結果

- ・ 1 日平均乗降客数は、新幹線開業間もない平成 27 年度が最も多く、平成 28 年以降はほぼ横ばいの傾向が続いている

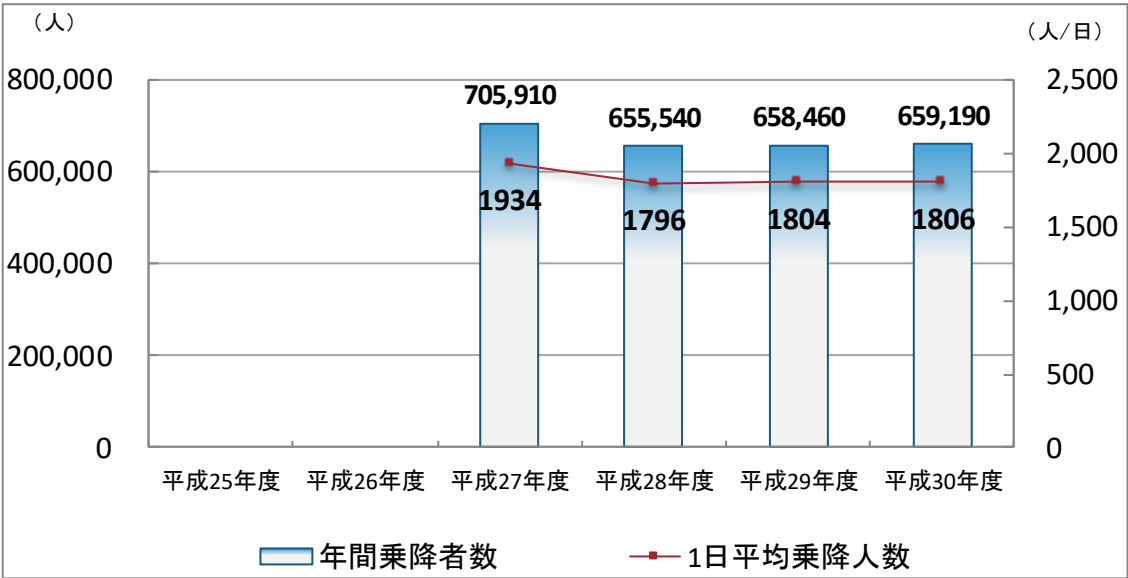


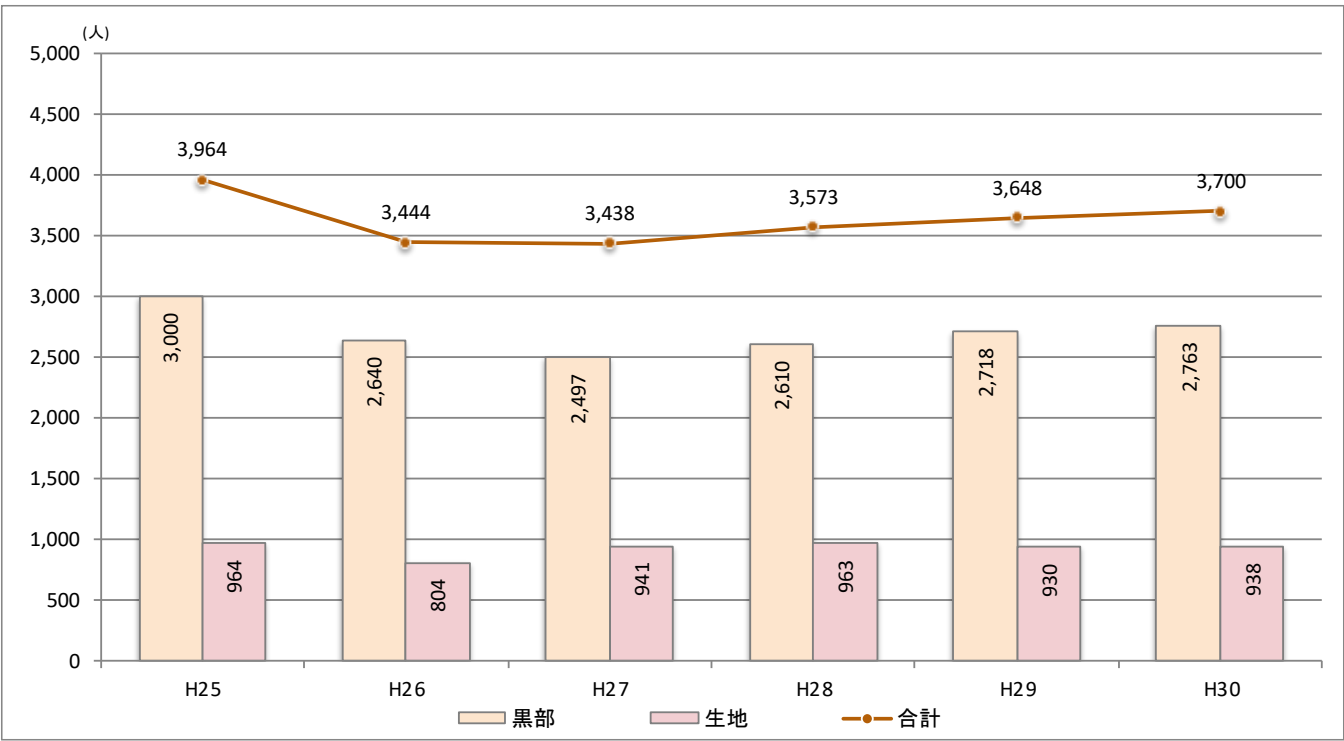
図 北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅における年間乗降者数推移

| 年度  | 乗車人数/日 | 乗降人数/日(× 2) | 年間乗降人数推計(× 365) |
|-----|--------|-------------|-----------------|
| H27 | 967    | 1,934       | 705,910         |
| H28 | 898    | 1,796       | 655,540         |
| H29 | 902    | 1,804       | 658,460         |
| H30 | 903    | 1,806       | 659,190         |

表 JR 西日本からの提供情報及び年間乗降者数  
(出典: JR 西日本からの情報を基に算出)

（３）【鉄道】あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)の利用状況

- ・あいの風とやま鉄道（旧 JR 北陸本線）の 1 日平均乗降客数は、長期的には減少傾向にある。
- ・新幹線開業に伴う特急の廃止等による影響で、新幹線開業前の平成 26 年度利用者数の落ち込みが大きかった。しかし、平成 27 年度では前年と比べほぼ横ばい、平成 28 年度以降は増加傾向に転じている。



上図 あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)市内駅の 1 日あたり乗降客数の推移

下表 あいの風とやま鉄道黒部市内鉄道駅の 1 日あたり乗降客数前年比

(出典:平成 26 年は平成 27 年 3 月 13 日まではJR西日本、平成 27 年 3 月 14 日以降はあいの風とやま鉄道)

|       | H25   | H26   | H27    | H28    | H29    | H30    |
|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 黒 部 駅 | 99.9% | 88.0% | 94.6%  | 104.5% | 104.1% | 101.6% |
| 生 地 駅 | 99.4% | 83.4% | 117.0% | 102.3% | 96.6%  | 100.8% |
| 合 計   | 99.8% | 86.9% | 99.8%  | 103.9% | 102.1% | 101.4% |

（４）【鉄道】富山地方鉄道本線の利用状況

- ・富山地方鉄道本線の平成 30 年度の 1 日平均乗降客数は、前年度とほぼ横ばいであり、半数の駅で前年度実績を上回った。

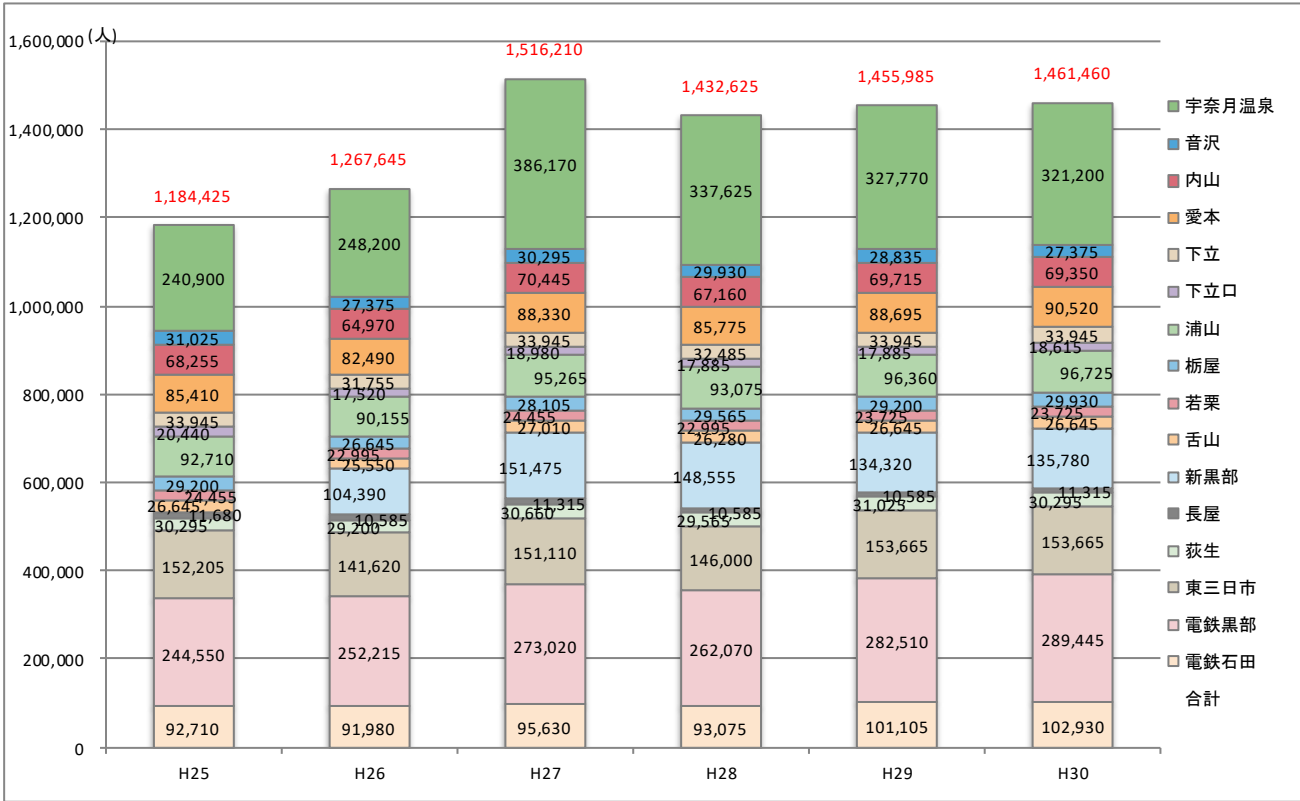


図 富山地方鉄道本線市内駅 年間乗降客数推移（出典：富山地方鉄道株式会社）

|           | H25    | H26    | H27    | H28    | H29    | H30    |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 電 鉄 石 田   | 98.8%  | 99.2%  | 104.0% | 97.3%  | 108.6% | 101.8% |
| 電 鉄 黒 部   | 92.5%  | 103.1% | 108.2% | 96.0%  | 107.8% | 102.5% |
| 東 三 日 市   | 102.5% | 93.0%  | 106.7% | 96.6%  | 105.3% | 100.0% |
| 荻 生       | 100.0% | 96.4%  | 105.0% | 96.4%  | 104.9% | 97.6%  |
| 長 屋       | 103.2% | 90.6%  | 106.9% | 93.5%  | 100.0% | 106.9% |
| 新 黒 部     |        |        | 145.1% | 98.1%  | 90.4%  | 101.1% |
| 舌 山       | 97.3%  | 95.9%  | 105.7% | 97.3%  | 101.4% | 100.0% |
| 若 栗       | 101.5% | 94.0%  | 106.3% | 94.0%  | 103.2% | 100.0% |
| 栃 屋       | 102.6% | 91.3%  | 105.5% | 105.2% | 98.8%  | 102.5% |
| 浦 山       | 100.0% | 97.2%  | 105.7% | 97.7%  | 103.5% | 100.4% |
| 下 立 口     | 114.3% | 85.7%  | 108.3% | 94.2%  | 100.0% | 104.1% |
| 下 立       | 102.2% | 93.5%  | 106.9% | 95.7%  | 104.5% | 100.0% |
| 愛 本       | 101.3% | 96.6%  | 107.1% | 97.1%  | 103.4% | 102.1% |
| 内 山       | 105.1% | 95.2%  | 108.4% | 95.3%  | 103.8% | 99.5%  |
| 音 沢       | 114.9% | 88.2%  | 110.7% | 98.8%  | 96.3%  | 94.9%  |
| 宇 奈 月 温 泉 | 114.0% | 103.0% | 155.6% | 87.4%  | 97.1%  | 98.0%  |
| 合 計       | 102.1% | 107.0% | 119.6% | 94.5%  | 101.6% | 100.4% |

表 富山地方鉄道黒部市内鉄道駅の 1 日あたり乗降客数前年比（出典：富山地方鉄道株式会社）

※緑色は前年対比で増加を示す

（５）【路線バス】新幹線市街地線の利用状況

- ・YKK荻生製造所まで延伸した平成29年7月以降において、利用者数は増加傾向にあり、延伸効果が見られる。しかしながら、他市町から黒部宇奈月温泉駅へのアクセス交通が整備されたことにより、利用状況は想定を大きく下回っている。
- ・平成30年度の1便当たりの乗車人数は1.8人で平成29年度の1.4人から増加している。

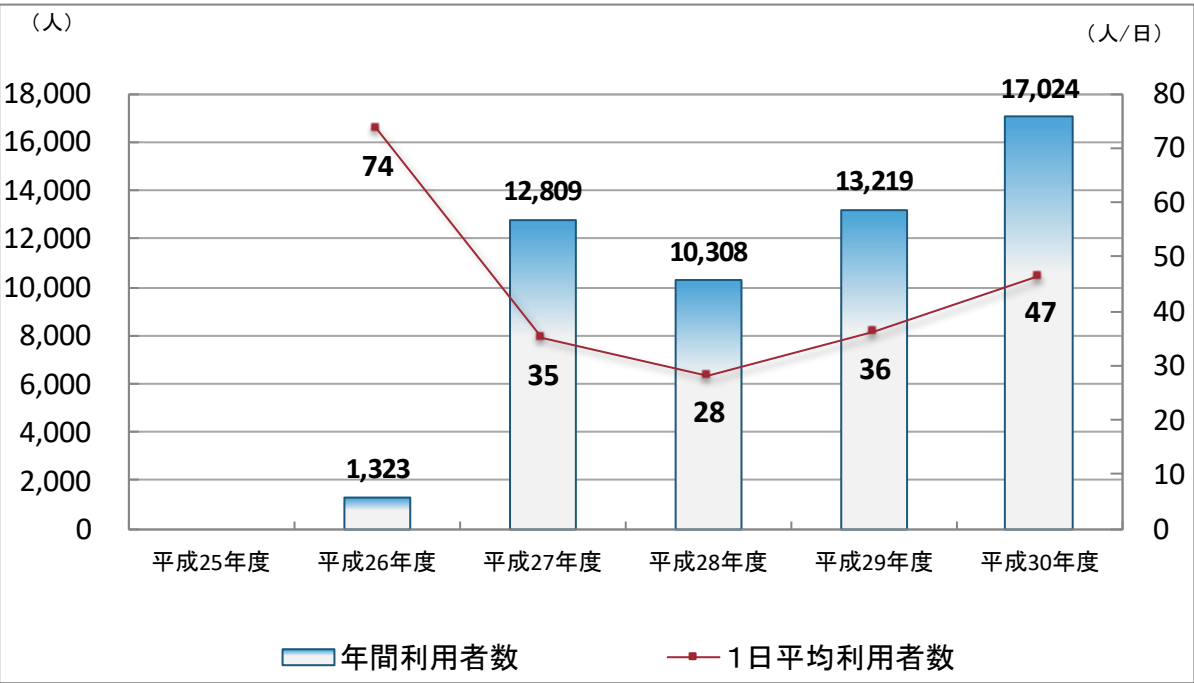


図 新幹線市街地線 年間利用者数の推移

（６）【路線バス】新幹線生地線の利用状況

- ・系統を増やした平成29年6月以降は、利用者数が大幅に増加しており、平日1日平均100人を超える利用で推移している。
- ・平日の1日あたり平均利用者数は休日の約10倍以上であり、通勤またはビジネスに利用されていると考えられる。

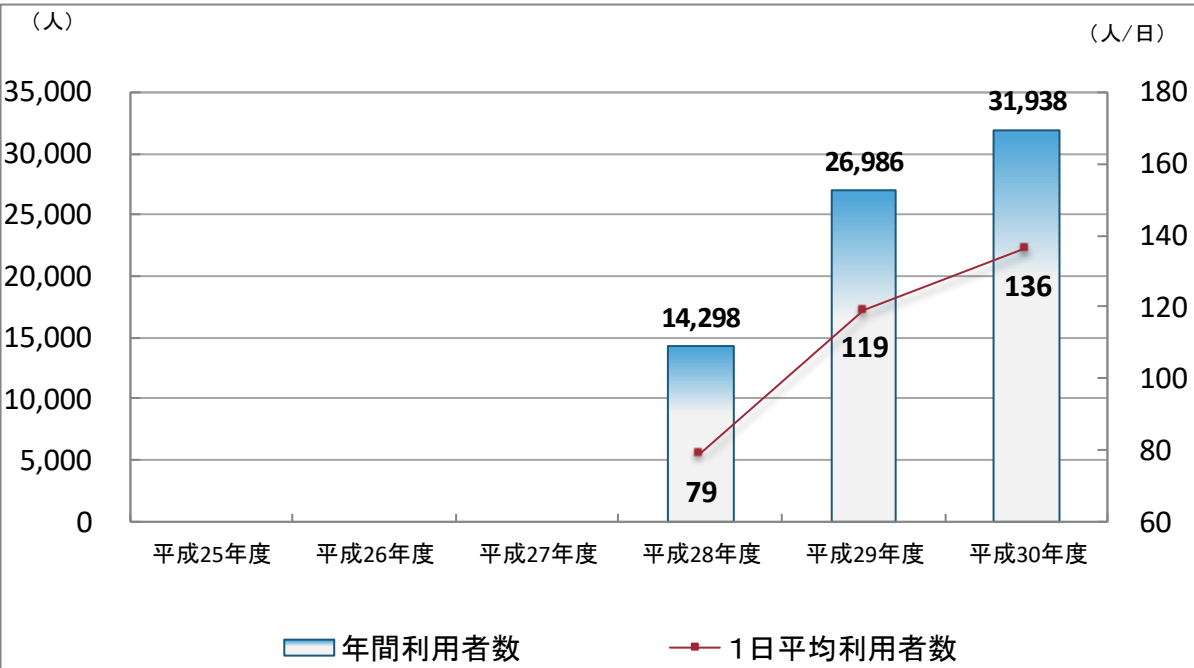


図 新幹線生地線 年間利用者数の推移

（７）【路線バス】生地循環線の利用状況

- ・生地循環線の年間利用者数は、平成26年度まで増加傾向にあったが平成27年度から減少傾向にある。平成30年度は、1日平均利用者数で平成29年度を下回っており、減少傾向が顕著である。
- ・1日あたり平均利用者数は平成22年黒部市OD調査より求めた基準値（39人/日）を上回っている。

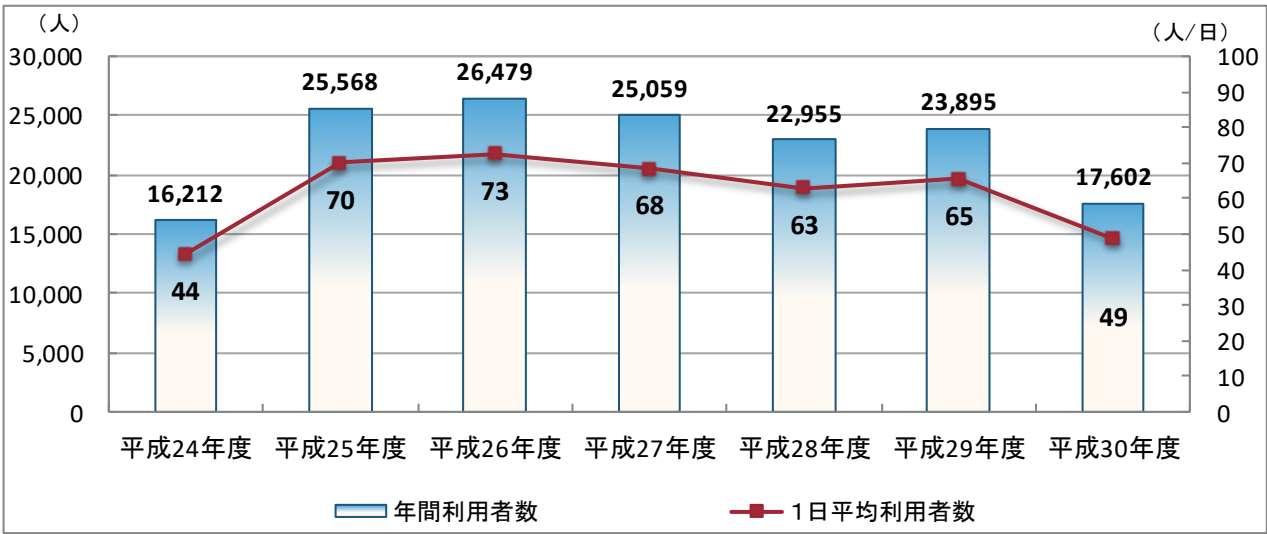


図 生地循環線 年間利用者数推移

（８）【路線バス】石田三日市線の利用状況

- ・利用者数は増加傾向にあり、平成30年度の年間利用者数も前年度の年間利用者数を上回った。

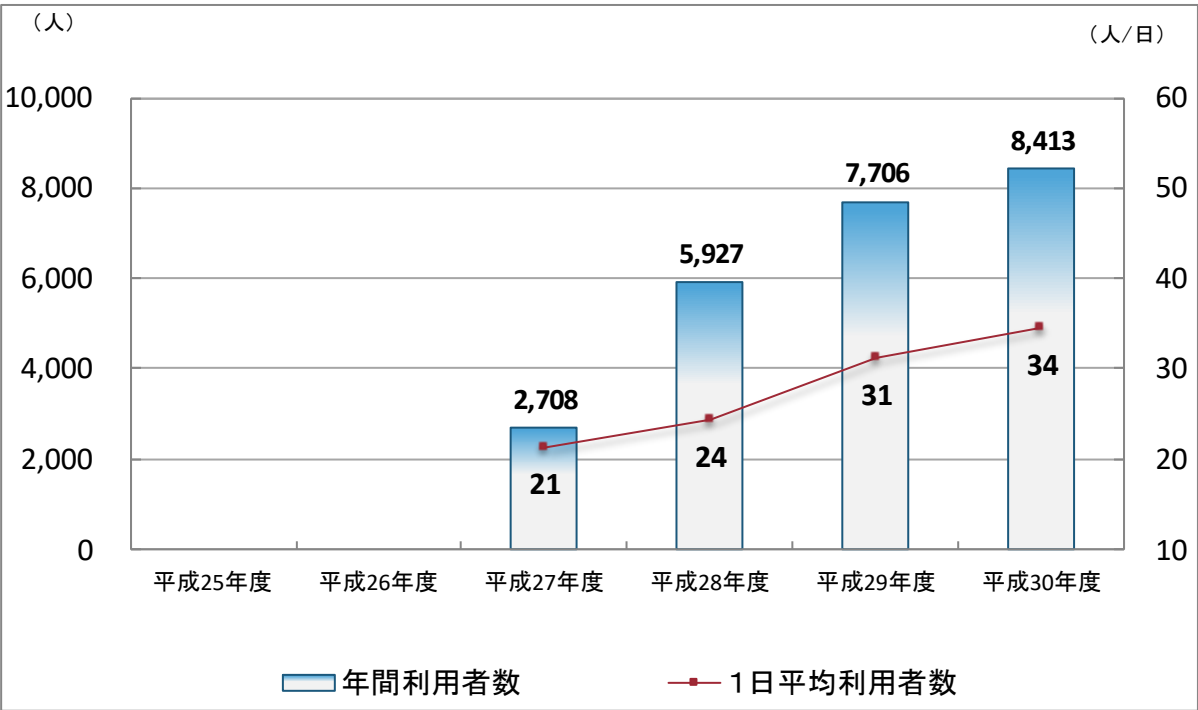


図 石田三日市線 年間利用者数の推移

## （９）【路線バス】池尻線の利用状況

- 平成 25 年度以降は利用者数が増加傾向にある。平成 30 年度からは平日のみの運行となったものの、平成 29 年度よりも利用者数は増えている。
- 1 日あたり平均利用者数も増加傾向にあり、平成 30 年度は平成 29 年度を大きく上回っている。なお、当初計画時の利用者数基準値は 14.9 人/日である。

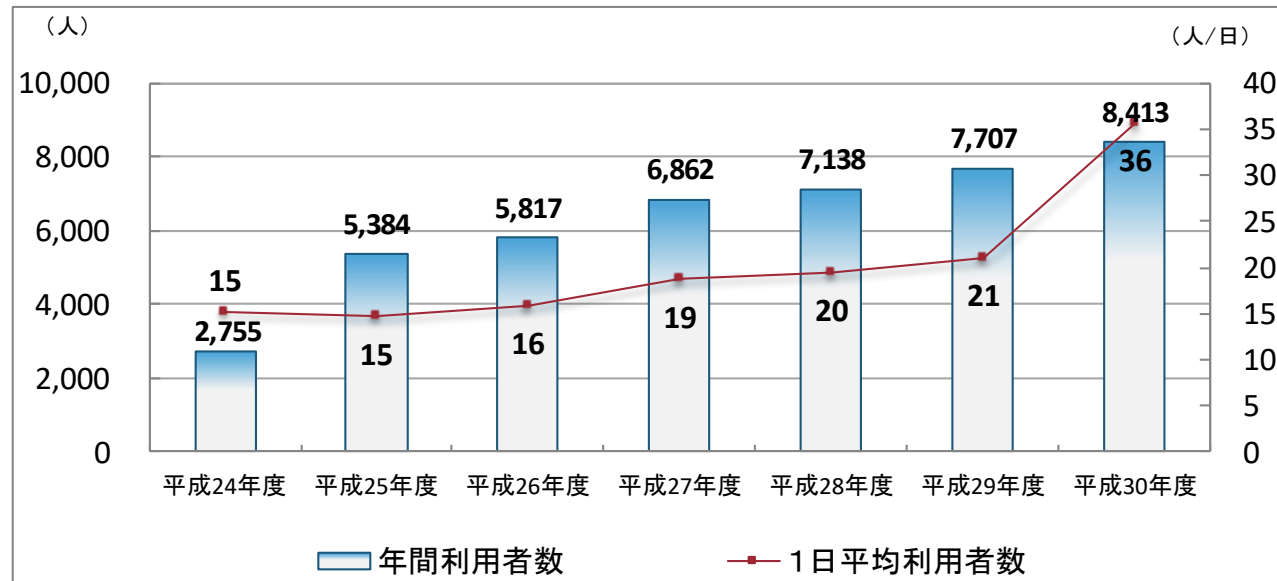


図 池尻線 年間利用者数推移

## （10）【路線バス】南北循環線の利用状況

- 平成 28 年 10 月から本格運行としており、一般利用も含め、平成 30 年度においては 1 日あたり 409 人程度の利用がある。
- 当初目標としていた 440 人/日（YKK 社員 420 人/日、一般 20 人/日）の利用に対して、社員利用で 30 人/日程度不足している。

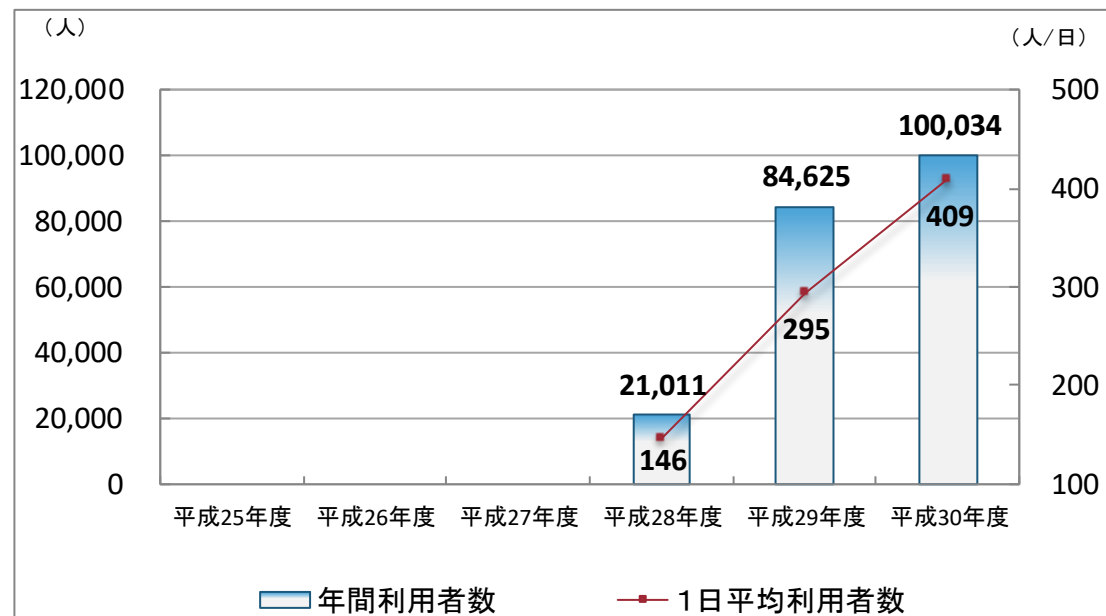


図 南北循環線 年間利用者数推移

## （11）【コミュニティ交通】愛本コミュニティタクシーの利用状況

- 平成 30 年度は、平成 29 年度とほぼ同様の利用状況となっている。
- 1 便ごとの利用者数は前年比で増加しているが、近年の平均と同等の利用である。

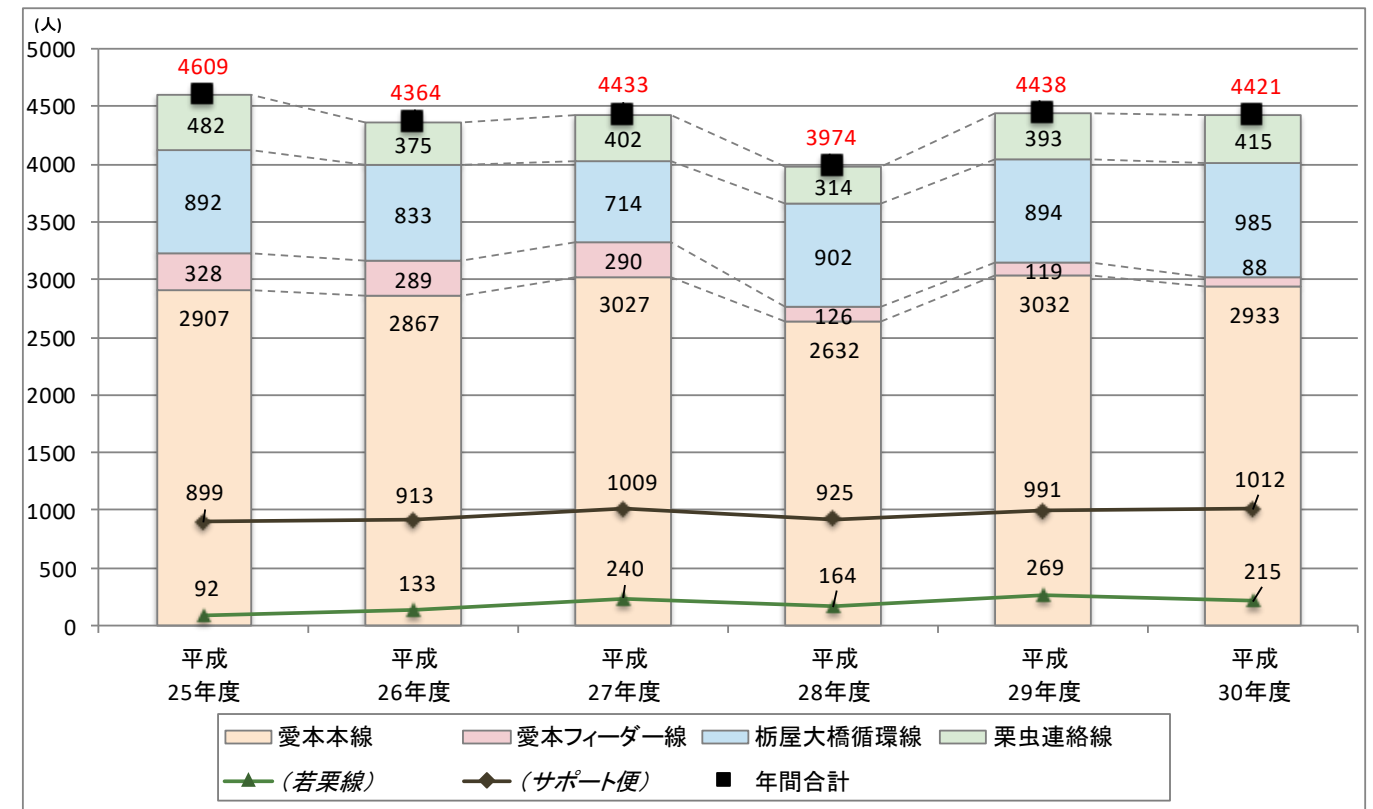


図 愛本コミュニティタクシー 年間利用者数推移



（12）【コミュニティ交通】デマンドタクシー（田家・前沢地区）の利用状況

- ・平成30年度の年間利用者数は、田家地区で減少傾向にあるものの、前沢地区では増加傾向にある。
- ・1日あたり平均利用者数及び1便あたり平均利用者数は田家地区では平成25年から減少傾向にある。

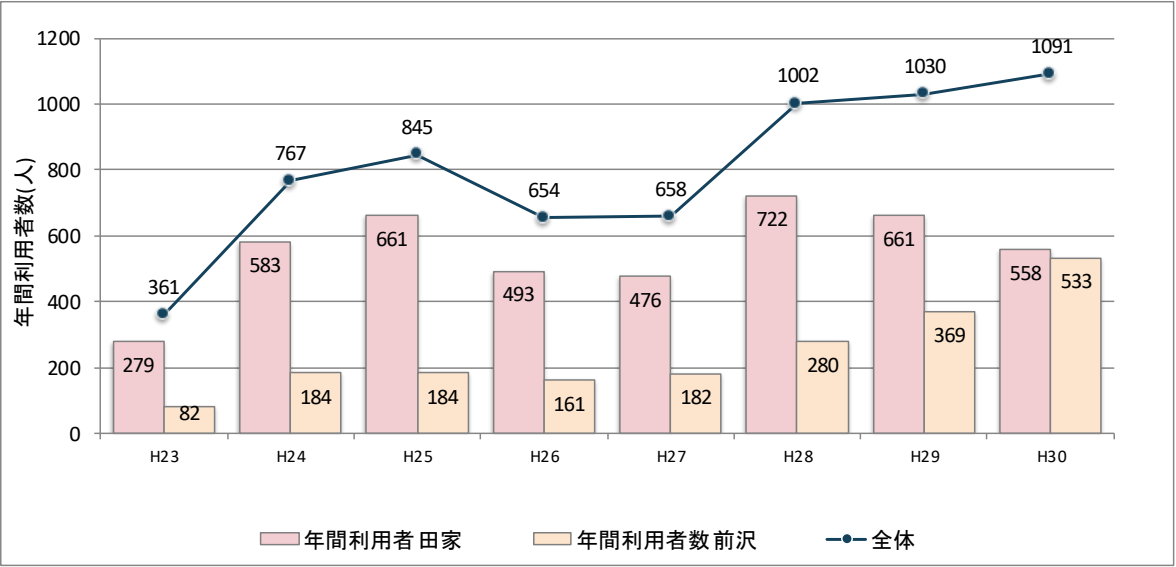


図 デマンドタクシー（田家・前沢地区）年間利用者数推移

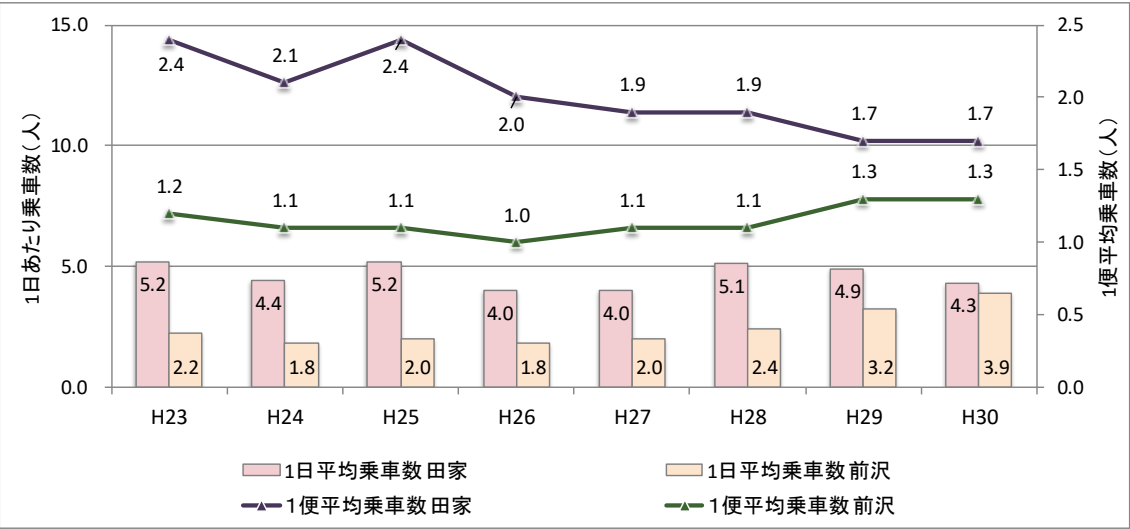


図 デマンドタクシー（田家・前沢地区）1日平均及び1便平均利用者数推移

（13）【コミュニティ交通】デマンドタクシー（村椿・大布施・荻生地区）の概要と利用状況

- ・平成27年11月の運行開始以降、平成29年度までは順調に利用者数が伸びていたものの、平成30年度の利用は横ばい傾向にある。
- ・1日あたり利用者数では、村椿・大布施地区の利用が多い。

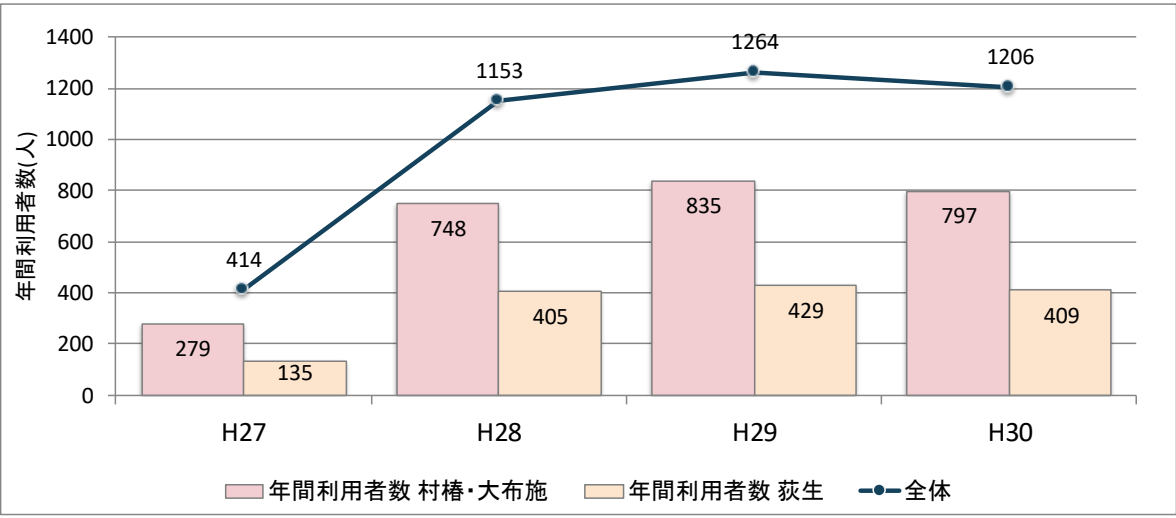


図 デマンドタクシー（村椿・大布施・荻生地区）年間利用者数推移

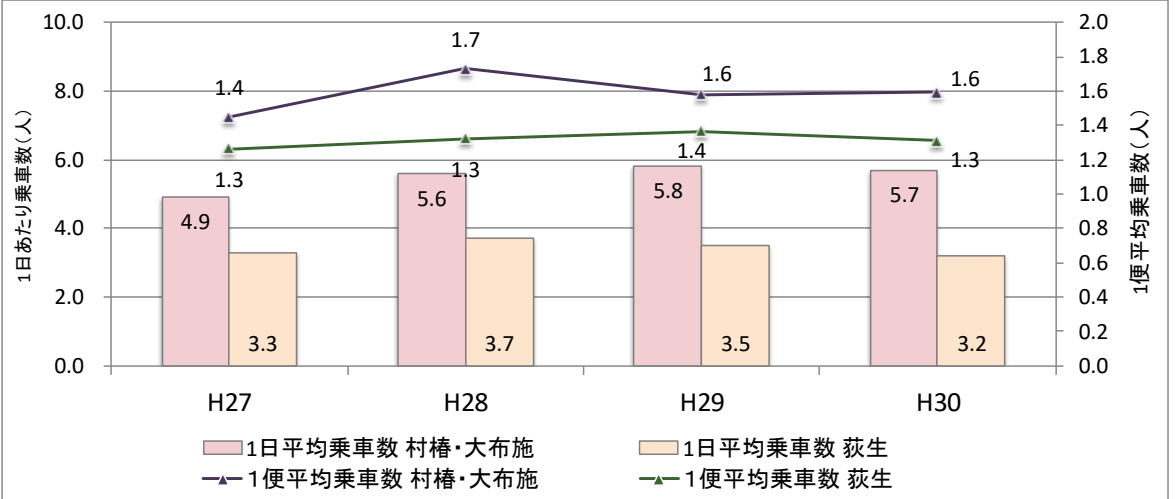


図 デマンドタクシー（村椿・大布施・荻生地区）1日平均及び1便平均利用者数推移

## 2. 事業の進捗状況【黒部市地域公共交通網形成計画】

- ・黒部市地域公共交通網形成計画に位置付けられた 30 の事業について、事業体系ごとに進捗状況を整理する。計画に位置付けられた事業は、着実に実施している。

### 体系① 新幹線開業効果を高める公共交通網の形成

- ・体系①に位置付けされた事業は、計画どおり事業中である。

実施状況凡例【●：達成 ○：継続して実施 △：検討】

| 番号 | 事業名                     | 平成 29 年度進捗 |                                                                                                              | 平成 30 年度進捗 |                                                                                                        |
|----|-------------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |                         | 実施状況       | 実施内容                                                                                                         | 実施状況       | 実施内容                                                                                                   |
| 1  | 新幹線市街地線の運行              | ○          | ・継続的に運行中。<br>・通勤需要獲得のため一部便で延伸した結果、利用者数が増加に転じている。<br>・さらなる利便性強化と、周辺施設との連携が必要                                  | ○          | ・継続的に運行中。<br>・利用者数増につながった延伸効果をさらに上げるため、黒部宇奈月温泉駅西口バス停を新設。<br>・利用者が増加している。                               |
| 2  | 新幹線生地線の運行               | ○          | ・平成 28 年 6 月運行開始し、継続的に運行中。                                                                                   | ○          | ・継続的に運行中<br>・順調に利用者数が増加                                                                                |
| 3  | 新川地域観光周遊タクシー「にいたく」の運行   | ○          | ・運行主体を民間事業者に移行し、民間事業者独自のサービス提供を行うこととなり、引き続き利用状況を把握しつつ必要があればサポートの検討を行う。                                       | ○          | ・引き続き利用状況を把握しつつ必要があればサポートの検討を行う。                                                                       |
| 4  | アルペンライナー(宇奈月温泉立山室堂線)の運行 | ○          | ・継続的に運行中。<br>・路線維持のために積極的な周知が必要である。<br>・H29. 4/29(運行開始)～10/31 土日祝日 65 日運行 利用人数 865 人、1 日平均 13 人、 1 便平均 6.7 人 | ○          | ・継続的に運行中。<br>・路線維持のために積極的な周知が必要である。<br>・H30. 4/29～10/14 土日祝日 67 日運行 利用人数 994 人、1 日平均 15 人、 1 便平均 7.4 人 |

### 体系② まちづくりと連動した地域公共交通網の形成

- ・体系②に位置付けされた事業は、計画どおり事業中である。

実施状況凡例【●：達成 ○：継続して実施 △：検討】

| 番号 | 事業名               | 平成 29 年度進捗 |                                                                                   | 平成 30 年度進捗 |                                                                                              |
|----|-------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |                   | 実施状況       | 実施内容                                                                              | 実施状況       | 実施内容                                                                                         |
| 5  | 生地循環線の運行と定期的な改善   | ○          | ・継続して運行中。<br>・循環路線を廃止した結果利用状況に改善がみられている。<br>・平成 30 年度以降一部路線延伸を行うことで、さらなる利用者増を目指す。 | ○          | ・継続して運行中。<br>・循環路線を廃止した結果利用状況に改善がみられている。<br>・一部路線延伸を行ったが、利用者数は伸び悩んでいる。地元意見を取り入れ来年度ダイヤ編成変更の予定 |
| 6  | 石田三日市線の計画と運行      | ○          | ・継続して運行中。<br>・運行ルートの改善を行うことで、利用者数が増加に転じている。                                       | ○          | ・継続して運行中。<br>・昨年度のルート改善以降、利用者数増加の効果が続いている。                                                   |
| 7  | 【新規】南北循環線の計画と運行   | ○          | ・平成 29 年 10 月から本格運行                                                               | ○          | ・継続して運行中。<br>・当初目標には達していないものの、利用者数は増加傾向。<br>・利用者の少ない退勤帯の便を廃止し、赤字額を抑制                         |
| 8  | 愛本コミュニティタクシーの運行改善 | ○          | ・継続して運行中。<br>・各路線は減少傾向にあるため、利用促進策の検討が必要。                                          | ○          | ・継続して運行中。<br>・1 便あたり利用者数は前年比で増加したが、近年の平均と同様の水準である。                                           |

|    |                             |   |                                              |   |                                             |
|----|-----------------------------|---|----------------------------------------------|---|---------------------------------------------|
| 9  | 田家・前沢地区でのデマンドタクシーの運行        | ○ | ・継続して運行中。<br>・前年同様の利用状況となっているが、継続的に利用促進が必要。  | ○ | ・継続して運行中。<br>・前年同様の利用状況となっているが、継続的に利用促進が必要。 |
| 10 | 村椿・大布施・荻生地区でのデマンドタクシーの計画と運行 | ○ | ・継続して運行中。<br>・増加傾向が頭打ちの状況となっており、継続的に利用促進が必要。 | ○ | ・継続して運行中。<br>・前年度と横ばいの状況となっており、継続的に利用促進が必要。 |

### 体系③ 公共交通利用環境の整備

- ・体系③に位置付けられた事業は、計画通り事業中である。

実施状況凡例【●：達成 ○：継続して実施 △：検討】

| 番号 | 事業名                        | 平成 29 年度進捗 |                                                                       | 平成 30 年度進捗 |                                                           |
|----|----------------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------|------------|-----------------------------------------------------------|
|    |                            | 実施状況       | 実施内容                                                                  | 実施状況       | 実施内容                                                      |
| 11 | 宇奈月温泉駅周辺地区の歩行環境整備          | ○          | ・宇奈月温泉駅にエレベーターを設置し、バリアフリー化が達成された。<br>・駅周辺地区におけるバリアフリー化については継続して検討を行う。 | ○          | ・駅周辺地区におけるバリアフリー化については継続して検討を行う。                          |
| 12 | バス待合環境の改善（モビリティハブの整備）      | ○          | ・モビリティハブの設置場所の検討及び基本設計、工事の実施を行った。<br>・レンタサイクルの整備や自転車の貸出システムを整備した。     | ○          | ・モビリティハブの設置箇所の増加を図った。                                     |
| 13 | 【新規】無料公共自転車「ちょいのり黒部」の整備・運用 | -          | ・無料公共自転車「ちょいのり黒部」の整備を行った。                                             | ○          | ・継続的に運用していたが、利用者のモラルの悪化に伴い、利用休止。<br>・対策について検討し、来年度より再開予定。 |
| 14 | 駅施設の修繕・改善                  | ○          | ・中学校統合に関し、荻生駅の利用環境整備計画を推進中である。                                        | ○          | ・荻生駅の整備に向け、実施設計を行った。                                      |
| 15 | 環境配慮型車両、バリアフリー車両の導入        | △          | ・適用路線、車両について検討中。                                                      | △          | ・適用路線、車両について検討中。                                          |
| 16 | 車両及びバス停のデザイン化促進            | ○          | ・モビリティハブデザインやおためし乗車券における市内公共交通デザインの統一。（ブランディングの実施）                    | ○          | ・モビリティハブデザインやおためし乗車券における市内公共交通デザインの統一。（ブランディングの実施）        |
| 17 | パーク＆ライド駐車場の整備              | △          | ・適用駅について検討中。                                                          | △          | ・適用駅について検討中。                                              |

### 体系④ 公共交通利用時の利便性向上

- ・体系④に位置付けられた事業は、計画どおり事業中である。

実施状況凡例【●：達成 ○：継続して実施 △：検討】

| 番号 | 事業名              | 平成 29 年度進捗 |                                                                                            | 平成 30 年度進捗 |                                                                                            |
|----|------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |                  | 実施状況       | 実施内容                                                                                       | 実施状況       | 実施内容                                                                                       |
| 18 | 交通情報提供システムの導入・運用 | ○          | ・平成 28 年度に引き続き、バスロケーションシステムとデジタルサイネージの運用を行った。                                              | ○          | ・平成 29 年度に引き続き、バスロケーションシステムとデジタルサイネージの運用を行った。                                              |
| 19 | 乗継ぎ利便性の確保        | ○          | ・定期的に公共交通の利用状況を調査し、ルートの見直しやバス停の廃止、新規設置を行った。<br>・北陸新幹線やあいの風とやま鉄道のダイヤ改正にあわせて関係路線のダイヤ改正を実施した。 | ○          | ・定期的に公共交通の利用状況を調査し、ルートの見直しやバス停の廃止、新規設置を行った。<br>・北陸新幹線やあいの風とやま鉄道のダイヤ改正にあわせて関係路線のダイヤ改正を実施した。 |

体系⑤ 公共交通の利用促進

- ・体系⑤に位置付けられた事業は、計画どおり事業中である。

実施状況凡例 [●:達成 ○:継続して実施 △:検討]

| 番号 | 事業名               | 平成 29 年度進捗 |                                                                                  | 平成 30 年度進捗 |                                                         |
|----|-------------------|------------|----------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------------------------------------------|
|    |                   | 実施状況       | 実施内容                                                                             | 実施状況       | 実施内容                                                    |
| 20 | 公共交通情報提供ホームページの運営 | ○          | ・継続して「公共交通で行こう」HPを運営した。                                                          | ○          | ・継続して「公共交通で行こう」HPを運営した。                                 |
| 21 | 企画切符の発行           | ○          | ・継続してくるワンきっぷを発行した。また、今年度はくるワンきっぷの効果検証のためのアンケート調査を実施した。<br>・企画切符とやま一日乗り放題切符に参加した。 | ○          | ・継続してくるワンきっぷを発行した。<br>・企画切符とやま一日乗り放題切符に参加した。            |
| 22 | 公共交通マップの作成        | ○          | ・継続して実施。内容の更新を行う。                                                                | ○          | ・継続して実施。内容の更新を行う。                                       |
| 23 | モビリティマネジメントの実施    | ○          | ・南北循環線の体験乗車会の実施。<br>・イベントと連携したおためし乗車券の配布ニュースレターの発行。                              | ○          | ・8回の体験乗車会の実施。<br>・イベントと連携したおためし乗車券の配布ニュースレター、KidsDoの発行。 |

体系⑥ コンパクトなまちづくりの推進

- ・体系⑥に位置付けられた事業は、計画どおり事業中である。

実施状況凡例 [●:達成 ○:継続して実施 △:検討]

| 番号 | 事業名           | 平成 29 年度進捗 |                                              | 平成 30 年度進捗 |                               |
|----|---------------|------------|----------------------------------------------|------------|-------------------------------|
|    |               | 実施状況       | 実施内容                                         | 実施状況       | 実施内容                          |
| 24 | 住宅取得支援補助事業の推進 | ○          | ・住宅取得支援補助事業を継続して推進している。                      | ○          | ・継続して実施。                      |
| 25 | 都市機能集積の推進     | ○          | ・市役所新庁舎への移転、バッシブタウンの第3期完成等、都市機能の集積が着実に進んでいる。 | ○          | ・（仮称）くろべ市民交流センターの整備検討が進行中である。 |

体系⑦ 公共交通に関する調査・計画・評価検証

- ・体系⑦に位置付けられた事業は、概ね計画どおり事業中である。

実施状況凡例 [●:達成 ○:継続して実施 △:検討]

| 番号 | 事業名                                     | 平成 29 年度進捗 |                                           | 平成 30 年度進捗 |                                               |
|----|-----------------------------------------|------------|-------------------------------------------|------------|-----------------------------------------------|
|    |                                         | 実施状況       | 実施内容                                      | 実施状況       | 実施内容                                          |
| 26 | 新幹線の利用状況調査                              | ○          | ・継続して定期的に乗降調査を行った。                        | ○          | ・継続して定期的に乗降調査を行った。                            |
| 27 | 【新規】池尻線とスクールバスの一体的な運行計画の検討              | -          |                                           | △          | ・今年度スクールバスの一体的な運行について検討を行った。                  |
| 28 | ICTを活用した予約制相乗り型交通システムの実証実験、導入可能性調査、計画検討 | ○          | ・東京大学と共同で地方創生交付金を活用した事業を実施。               | ○          | ・第2回目の実証実験を実施した。<br>・実施結果を検証している。             |
| 29 | 公共交通の評価、検証                              | ○          | ・継続して計画のフォローアップを行った。                      | ○          | ・継続して計画のフォローアップを行った。                          |
| 30 | 市民意見の聴取、アンケート調査の実施                      | ○          | ・継続して北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅にて新幹線利用者を対象としたアンケートを実施。 | ○          | ・池尻線の検討を通じたアンケート、相乗りタクシー参加者対象のアンケートで意見聴取を行った。 |

3. 目標の達成状況（見通し）【黒部市地域公共交通網形成計画】

- ・目標指標1及び2については、目標を達成する見込み。
- ・目標指標3については、目標を達成。
- ・目標指標4及び5については、市民アンケート調査において計測予定。

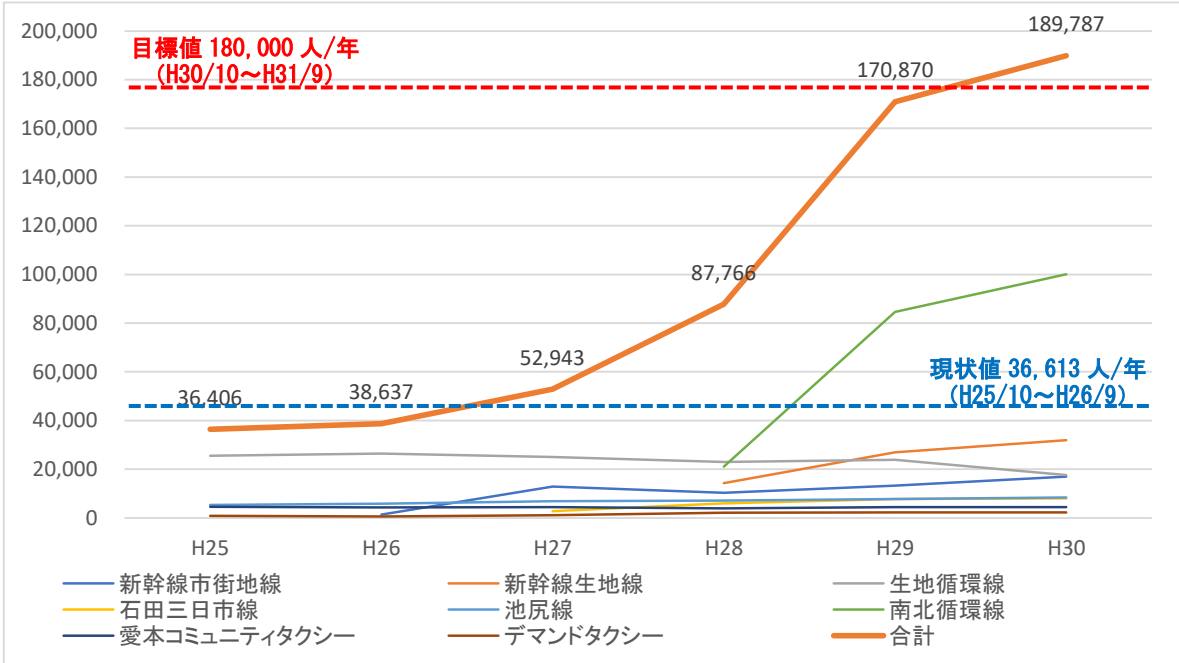
|                                          | 現状値<br>（集計期間）                  | 評価値<br>（集計期間）                                                | 目標値<br>（集計期間）                  | 数値目標の<br>達成見通し |
|------------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------|----------------|
| 目標指標1<br>市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数            | 36,613 人/年<br>(H25/10～H26/9)   | 189,787 人/年<br>(H30 年度)<br>【参考】186,970 人/年<br>(H29/10～H30/9) | 180,000 人/年<br>(H30/10～H31/9)  | ○<br>(見込み値)    |
| 目標指標2<br>市内鉄道の利用者数                       | 2,631,285 人/年<br>(H25/4～H26/3) | 3,446,158 人/年<br>(H29 年度)                                    | 3,393,000 人/年<br>(H30/4～H31/3) | ○<br>(見込み値)    |
| 目標指標3<br>公共交通利用圏域内 町内会人口率<br>（交通空白地域の解消） | 76%<br>(H27/3 時点)              | 99.9%<br>(H31/3 時点)                                          | 100%<br>(H31/3 時点)             | ○<br>(確定値)     |
| 目標指標4<br>1年に1回以上公共交通を利用する市民の割合           | 61.0%<br>(H26 年度アンケート)         | —※<br>(H31 年度アンケート)                                          | 80.0%<br>(H31 年度アンケート)         | —              |
| 目標指標5<br>市内公共交通への満足度                     | 2.37<br>(H26 年度アンケート)          | —※<br>(H31 年度アンケート)                                          | 3.50<br>(H31 年度アンケート)          | —              |

※ 今年度実施するアンケート調査において計測予定

| 数値目標の<br>達成見通し | 評価の基準                                      |
|----------------|--------------------------------------------|
| ○              | ・評価値が目標値を上回った場合                            |
| △              | ・評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合 |
| ×              | ・評価値が目標値には達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合      |
| —              | ・現時点での評価が難しい場合                             |

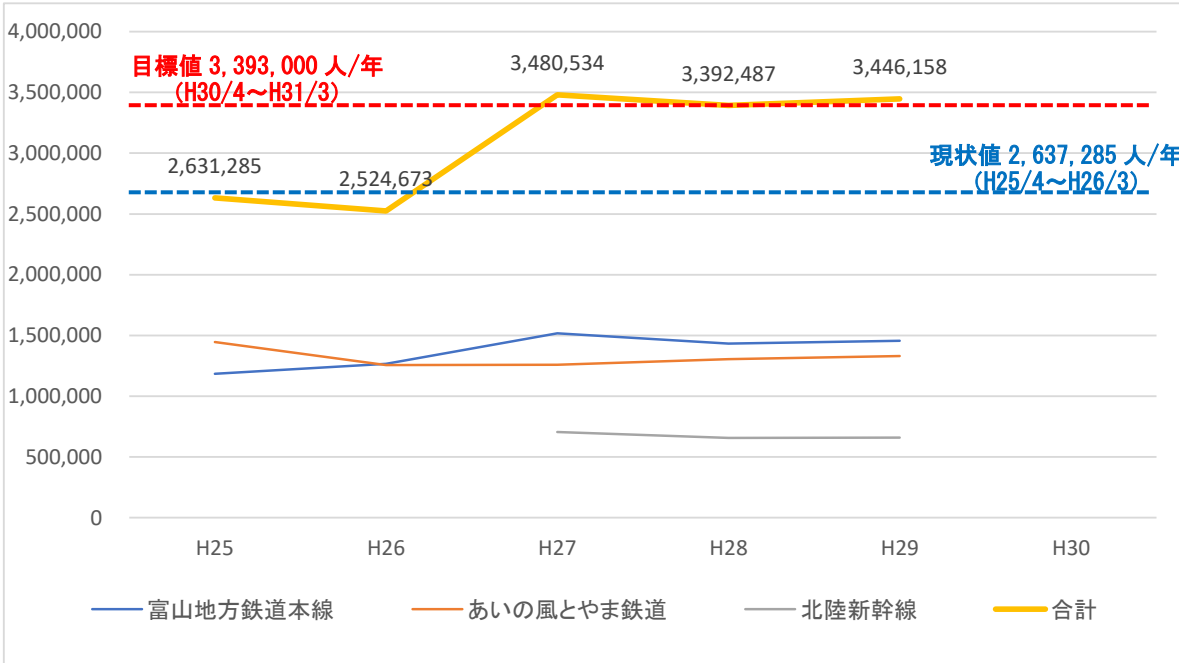
(1) 目標指標1 市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数

- ・市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は、新たな路線（新幹線生地線や南北循環線）の運行や利用促進の取組等に伴い増加傾向にあり、目標値である 180,000 人/年を達成する見込みである。



(2) 目標指標2 市内鉄道の利用者数

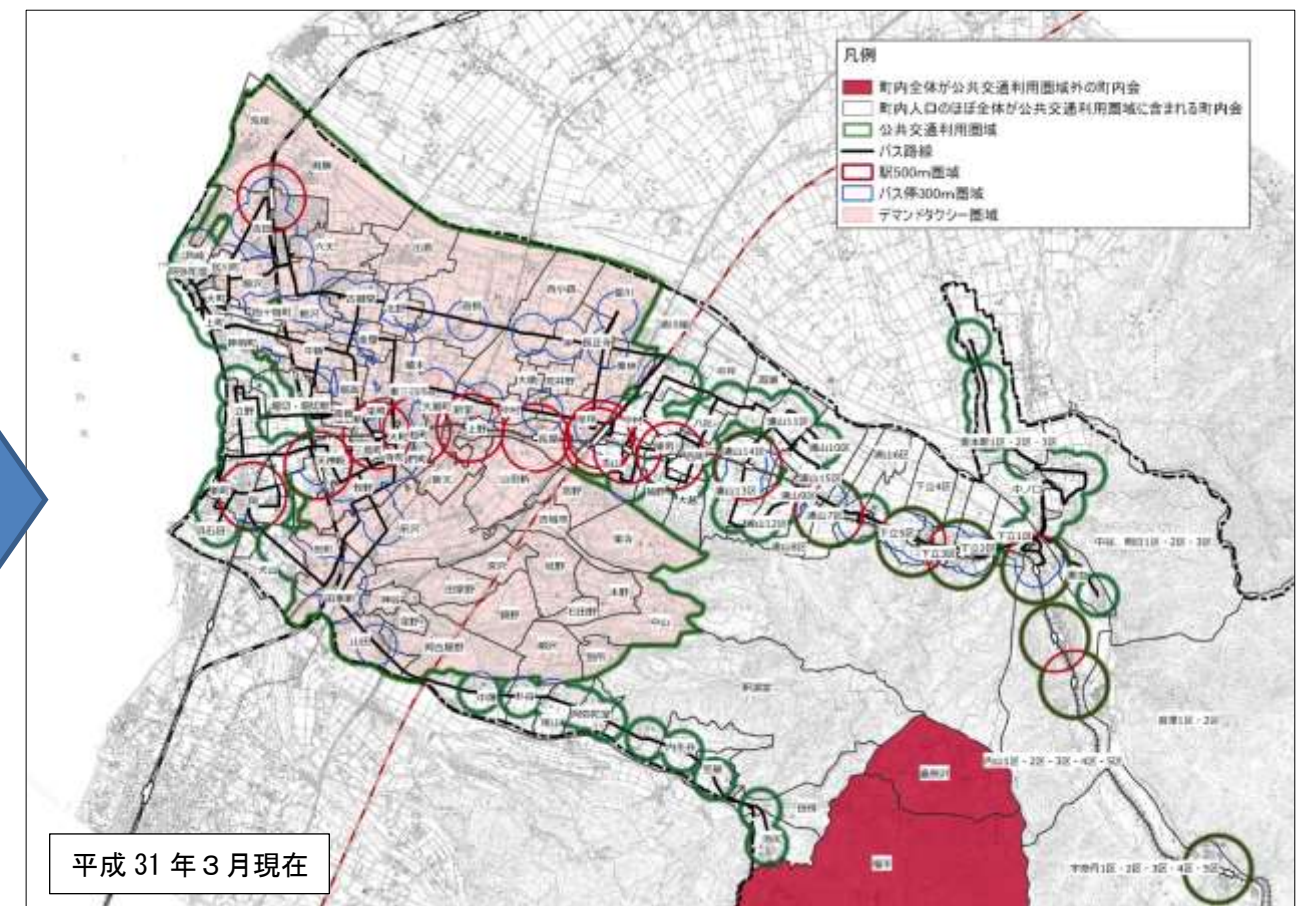
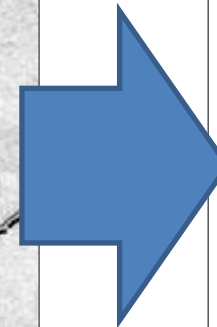
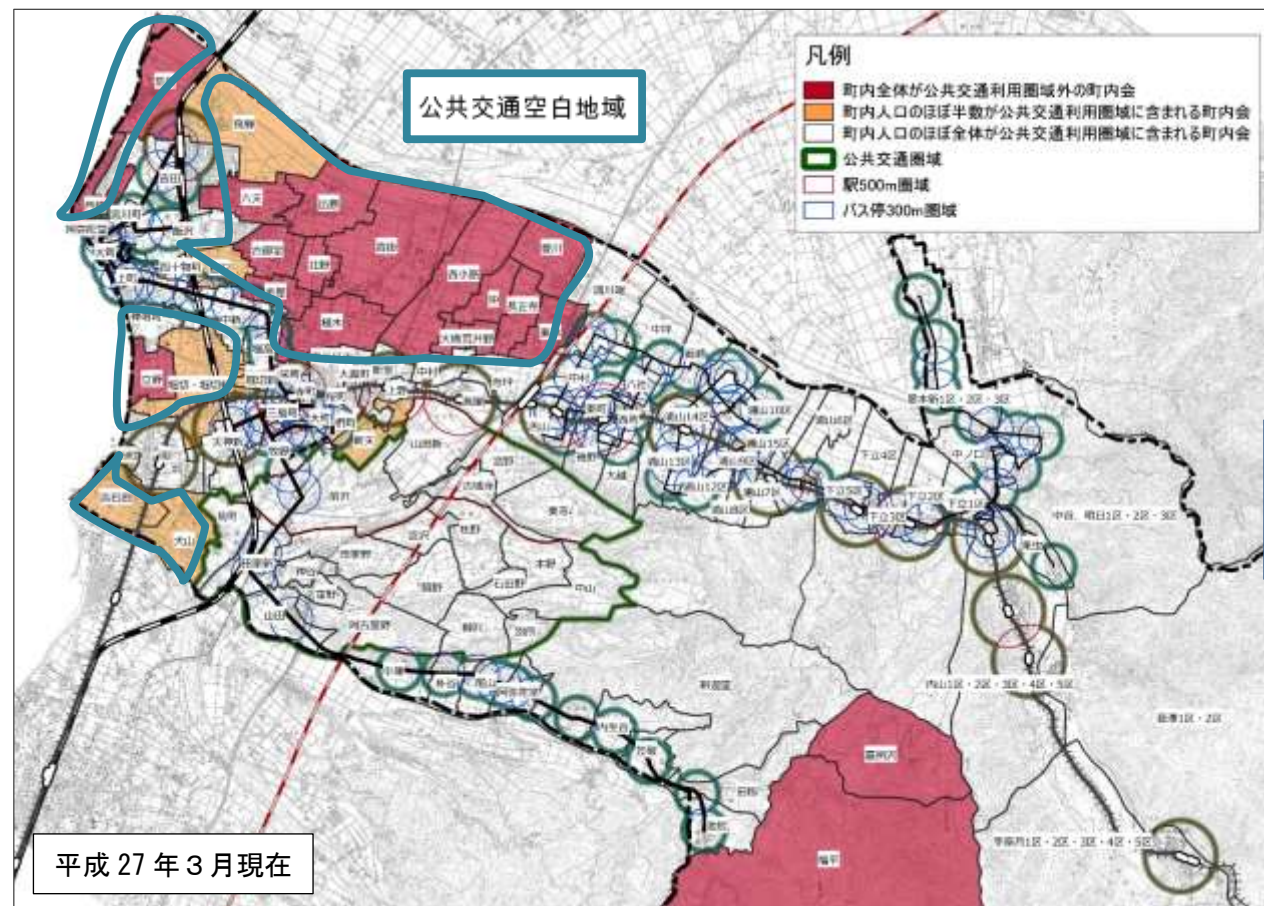
- ・市内鉄道の利用者数は、新幹線の開業に伴い底上げされ、近年は横ばい傾向が継続しており、目標値である 3,393,000 人/年を達成する見込みである。





### （3）目標指標3 公共交通利用圏域内 町内会人口率(交通空白地域の解消)

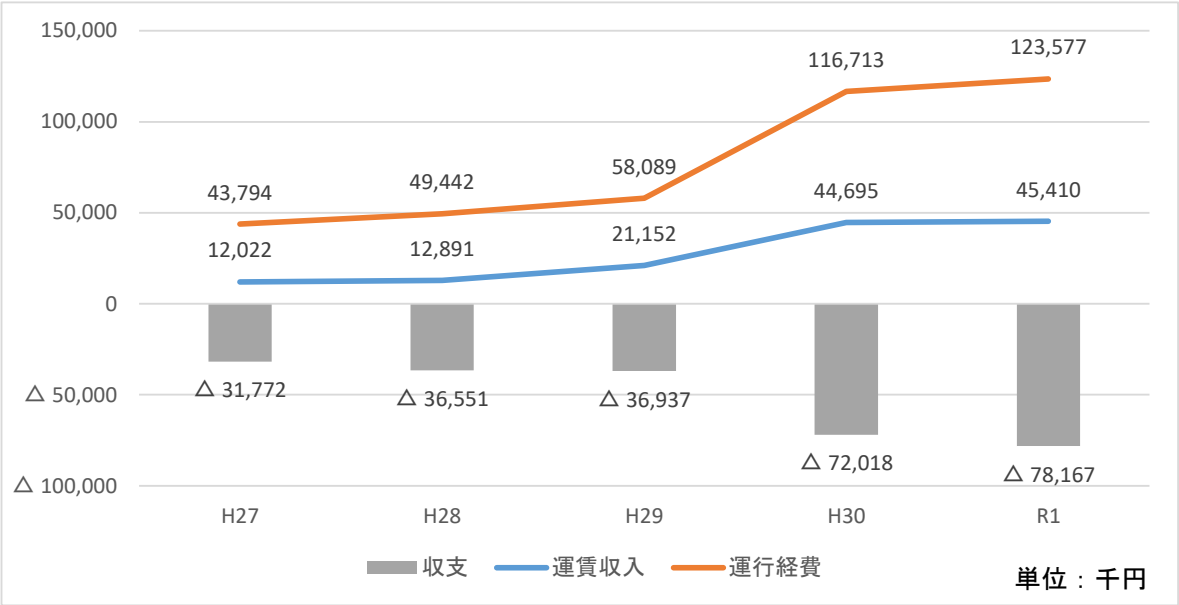
- 公共交通利用圏域内 町内会人口率は、新たな路線の運行や運行ルートの変更等に伴い、平成 27 年 3 月時点の 76%（現状値）から平成 31 年 3 月には 99.9%に上昇し、目標値を達成している。



## 4. 顕在化した問題

### （1）運行事業の官民負担額の拡大

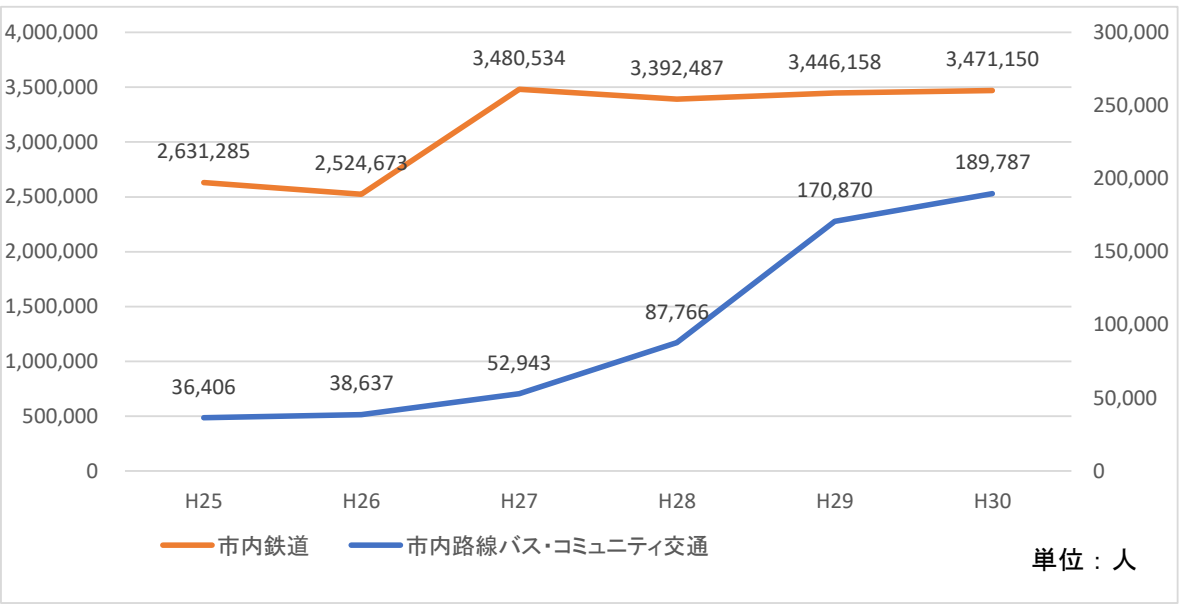
- 市内のバス路線の運賃収入及び運行経費は、新たな路線の運行や利用促進の取組等に伴い増加傾向にある一方、運賃収入から運行経費を差し引いた差額の負担額について拡大傾向がみられる。



資料）決算資料（平成27年度～30年度）及び予算資料（令和元年度）

### 参考）公共交通利用者数

- 市内の公共交通利用者数は、路線バス・コミュニティ交通及び鉄道ともに増加傾向にあり、それぞれの数値目標を達成する見込みであるが、公共交通網を持続するには、さらなる利用者数の増加が必要。



### （2）継続的な運転手の不足

- 新たな路線の運行や運行エリアの拡大への取組を進める中で、公共交通の担い手である運転手の離職の問題や新規雇用が困難な問題等が指摘されている。